



令和6年1月29日

報道関係 各位

名古屋市立大学総務部 広報室

室長 小松 一哉 電話：052-853-8329

## 大手書店などで売上ランキング1位！ 社会貢献活動としての書籍シリーズ第8弾 「名市大ブックス」第15・16巻の出版について

名古屋市立大学は、高等教育機関として教育・研究・医療を通じた社会貢献に積極的に取り組んでおり、「大学の地域貢献度に関する全国調査 2021・2023（日本経済新聞社）」では、全国1位の評価を得ています。

新型コロナウイルス感染症の影響によって生涯学習講座等の社会貢献活動を本来の形で実施できない状況が続きました。その中で“本学にできることは何か”を考え、withコロナ時代に自宅で手軽に知識・教養を得たいという社会的ニーズに応える新たな取り組みとして、令和2年10月に書籍シリーズ「名市大ブックス」を創刊しました。生涯学習講座等は再び、対面形式等で開催できるようになりましたが、「名市大ブックス」は講演等に直接足を運ばずとも、自宅で手軽に知識・教養を得られるため、様々なかたちでの生涯学習機会の提供として、現在も継続して出版しております。

このたび、シリーズ第8弾として**第15巻・第16巻を同時出版**いたします。医・薬・看護の医療系3学部を有し、令和5年4月には「みどり市民病院」「みらい光生病院」が新たに名古屋市立大学の医学部附属病院となり、「名古屋市立大学病院」「東部医療センター」「西部医療センター」と合わせて、病床数約2,200床を有する国公立大学では全国最大級の附属病院群が誕生しました。「健康・医療」をテーマに、本学の**医師・看護師・教員ら各巻12名の著者が、それぞれの専門領域から、科学的な知見から考える子育て方法や、生活と健康を支える多様な看護の役割などをわかりやすく解説**していますので、皆様の日々の生活の質向上にお役立ていただければ幸いです。

この取り組みを市民の皆様に広く知っていただきたくご案内申し上げますとともに、是非ご取材いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

### 【名市大ブックス】

- (1) 発 売 日 令和6年1月31日（水）
- (2) 書 籍 名 第15巻 チャイルドサイエンスに学ぶ 楽々子育てガイド  
第16巻 看護の世界 ～生活と健康を支える多様な看護
- (3) 価 格 本体1,100円（税込）
- (4) 仕 様 A5判  
120頁（15巻）／112頁（16巻）
- (5) 販売書店等 一般書店・Amazon・本学生協 等
- (6) 発 行 中日新聞社



## 執筆者一覧

### ○【第15巻】チャイルドサイエンスに学ぶ 楽々子育てガイド

No	原稿タイトル	著者	所属等（※令和6年1月時点）
1	どうする子育て～子どもと親にやさしい社会に向けて	岩田 欧介	医学研究科新生児・小児医学 准教授
2	産後の心と体の健康を守る～出産なさる女性と周りの方へ	北折 珠央	医学研究科産科婦人科学 講師
3	子どもの成長と栄養	青山 幸平	医学研究科新生児・小児医学 助教
4	乳幼児健診と予防接種～子どもが健やかに育つために	浅井 雅美	医学部 臨床教授/大同病院 副院長・小児科部長
5	寝ない子・ぐずる子への対応～親と子の睡眠のために	岩田 幸子	医学研究科新生児・小児医学 病院助教
6	乳幼児の発達を見守るコツ	大橋 圭	医学研究科こころの発達医学 寄附講座講師
7	学童期の発達を見守るコツ	山中 亮	人間文化研究科臨床心理コース 教授
8	子どもの急性疾患	服部 文子	医学研究科新生児・小児医学 東部医療センター 准教授
9	感染症以外の子どもの病気～アレルギー・目耳鼻の疾患など	野村 孝泰	医学研究科新生児・小児医学 講師
10	病気や障害とともに生きる子どもたちと、その家族を支えるための社会のしくみ	川瀬 恒哉	医学研究科新生児・小児医学 病院助教
11	環境化学物質と子どもの健康～環境省「エコチル調査」	上島 通浩 岩田 欧介	医学研究科環境労働衛生学 教授 医学研究科新生児・小児医学 准教授
12	名古屋市の子育て支援～子どもの権利を守るまち	谷口 由希子	人間文化研究科人間の成長と発達分野 准教授

### ○【第16巻】看護の世界 ～生活と健康を支える多様な看護

No	原稿タイトル	著者	所属等（※令和6年1月時点）
1	保健師はどんなことをしているの？	門間 晶子	看護学研究科地域保健看護学 教授
2	助産師の世界へようこそ	山川 美奈子	医学部附属西部医療センター 助産師
3	小児看護師～病気を持つ子どもの成長と発達を支える	山邊 素子	看護学研究科生育保健看護学 教授
4	慢性疾患とともに生きる人々を支える	安東 由佳子	看護学研究科慢性看護学 教授
5	生命の危機状態にある人々を支える	中嶋 武広	看護学研究科 非常勤講師/岐阜ハートセンター 看護部長
6	認知症高齢者を支える	門井 真衣	医学部附属東部医療センター 老人看護専門看護師
7	心のケアを必要とする人々を支える	桐山 啓一郎	看護学研究科精神保健看護学 准教授・精神看護専門看護師
8	「病院完結型」から「地域完結型」の医療へ～在宅医療とは何か	秋山 明子	看護学研究科在宅看護学 教授
9	生きることを支える訪問看護～病気になっても自分らしく幸せに	藤野 泰平	看護学研究科 非常勤講師/みんなのかりつけ訪問看護ステーション 代表取締役
10	医療チームを調整する～効果的に展開される治療体制に向けて	川崎 友香	名古屋市立大学病院 精神看護専門看護師
11	感染を予防する看護師と看護技術	安岡 砂織	看護学研究科感染予防看護学 准教授
12	可能性にあふれる看護職として生きる道～アメリカ看護師就労体験記	吉野 亜沙子	看護学研究科 研究員

大学の地域貢献度調査※2023全国1位の名古屋市立大学がおくる

# 名市大ブックス

## 第15・16巻発売

### 第15巻

成長と栄養、予防接種、乳幼児健診、医療リテラシー、産後うつ、親と子の睡眠、急性疾患、アレルギー、医療的ケア児支援、エコチル調査、名古屋市の子育て支援

### 第16巻

看護師、保健師、助産師、健康支援、小児看護、慢性疾患、生命危機、認知症、こころのケア、地域包括ケアシステム、訪問看護、感染予防、専門看護師、診療看護師、チーム医療

大学の医師・看護師・教員らが  
わかりやすく解説！



## 第1~14巻も好評発売中

価格：1,100円(税込)  
編者：名古屋市立大学  
発行：中日新聞社  
販売場所：一般書店、Amazon、  
市大病院・生協など

- 三省堂書店 名古屋本店 (1~14巻)
- 三省堂書店 神保町本店 (11~14巻)
- 星野書店 近鉄パッセ店 (1~14巻)
- 紀伊國屋書店 名古屋空港店 (7・8巻)
- Amazon(大学・大学院部門1・2巻)ほか

※日本経済新聞社調べ

書店やネットで  
売上  
ランキング  
1位  
獲得の  
書籍シリーズ



WEBサイトもチェック!

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/meishidaibooks/>

NC 名古屋市立大学

# 第15巻

## チャイルド サイエンスに学ぶ 楽々子育て ガイド

子育てと親にやさしい社会に向けて

医学部助産学 小児医学 准教授 岩田 敬介

昔も今も育ての悩みはつきません。しかし悩みの内容には時代的な要素も色濃く反映されます。少子化という社会的な問題をかえる現代の子育ては、何が課題であり、どう解決すべきを考えてみましょう。

### 子どもと親に優しい日本の社会

小児科医は子ども好きになるものと思われがちです。でも、実際は小児科医にならなくて子ども好きで理由で小児科医になった医師ばかりでなく、純粋に子どもの病気や治療に取り組みたくて小児科に就いた医師が一定数いることを知りました。私も後者の一人です。大学受験もないころまでは、新幹線と車両で大泣きする赤ちゃんに「お母さん大変だろうなあ」という気持ちのうらで「早く泣き止まないかなあ」と普通に思っていました。

同じ小児科医の妻と4人の子育てを育てる今では、馬車馬のようにかけぬける毎日の生活の中で、小さな子どもと接する時間は笑顔や喜び、生きるための燃料を給油できる瞬間です。でも、社会のルールなど知る由もない子どもは自分の生き方を誤解して、家の人だとうと容赦ありません。親は常に子どもたちの「挙手一投足に、「ごめんさい」を言っただけで回っている気がして、親として周りに気がついて、だだをこねるわが子をあやすつらさや、仕方なくベビーカーで乗りこんだ電車が満員になった時のはつたの悪さを学ぶ機会が事前にあるはずもなく、経験した人以外は共感しにくいですよね。

### 子どもの健康不安

子育てを家の外で済ませる必要に迫られているのが子どもにあまりやさしくない社会だとすると、家の中で子育ての苦勞を大きくしているのが、子どもの健康不安、育児タスクの集中ではないでしょうか。

生まれたばかりの赤ちゃんは、とにかく泣きます。やっとなんかしてあげて、ベビーベッドに置いた瞬間にギャン泣きにもどらぬ泣きながら泣き止まないと、おむつ替えも授乳もすませない、とにかく泣き止まないわが子だっことして泣き止まされたこととは、小児科医の私も例外なく経験しました。わが子が、そして親である自分が大丈夫かな、と自問することもありました。小児科医でなかったら、わが子の発熱や急病の心配はもっと大きかったでしょう。

同僚が育児から復帰すると、「子どもから手が離れるようになって少しは楽に



9 どうも子育てで子どもと親にやさしい社会に向けて

各巻12名の医師・看護師・教員らがオムニバス形式で展開。  
「健康・医療」をテーマに自身の専門分野から、役立つ情報を詳しく解説。

# 知の拠点である

# 名市大の英知をここに結集!

大学の学術書や教科書とは一味違う、  
一般の方に向けた内容で医師・看護師・教員らが執筆。  
専門知識を丁寧な文章・写真・イラストでわかりやすく伝えます。

# 第16巻

## 看護の世界 生活と健康を支える 多様な看護

の連携があれば自宅などの療養は可能なのか、うかがい上がった課題をもとに検討していきます。

### 自宅での介護が難しい疾患や障害もある

認知症の父親を介護した私の友人は、父親の徘徊、妄想・幻覚、昼夜逆転、暴言暴力、排便障害などの行動や症状への対応に限界を感じて、在宅での介護を断念し、介護施設に入所させたところ、父親のさまざまな症状や行動がゆるやかに、表情もおだやかになるという経緯がありました。介護に専門性が求められる疾患や障害によっては、専門家に介護してもらうことで、患者さん・家族双方が安心して過ごせるようになるということも思いいます。

また、老老介護であったり、認知介護であったりすると、介護者の負担が大きいベネフィット、介護放棄や虐待などに発展する可能性があります。介護施設への費用に比べると高額になりますが、介護者の負担を軽減する必要がある場合は、介護施設などへの入所が適しているでしょう。

### 1人暮らしの高齢者は難しい?

1人暮らしの高齢者について現時点では、要介護度が3になると持ち家での1

人暮らしは激減し、家族との同居、施設などへの入所、老人ホームなどへの転居が増加しています。しかし私の知る限りでは、要介護3以上の自宅療養も少しずつ増えています。最も印象に残っているケースは、施設入居前には「ALZ」をわずらっていた要介護5の60代女性です。すばらしい多職種連携によって、数時間ごとにたれが訪問する体制ができていました。とはいえ、高度な医療を受けるための1人暮らしです。自宅で療養して自宅で退院をむかえる覚悟に、涙としたものを感ずりました。

### 在宅医療を必要とする人々を支える看護職

病院完結型から地域完結型の医療にシフトチェンジしたことにともない、看護職の仕事は「病院現場」から「地域包括ケア」へと変わりつつあります。一昔前はほぼ100%の看護学生が病院に就職しましたが、地域包括ケアの中では、看護職が働く場も多様です。訪問看護サービスなどを提供する看護職も増えてきています。

そんな時代の流れを受けて名古屋大学では、「地域保健看護学研究室」の中で教えていた在宅看護学が、「在宅看護学研究室」とし独立しました。病気がいざなりは病院に行き、病院で死亡、という時代から、住み慣れた地域でその人らしい療養生活をサポートする時代になりつつある今、看護職の働き方もますます広がっていくことでしょう。

※1 要介護度  
65歳以上の高齢者が日常生活においての高度な支援を必要とする状態を指す。

※2 介護施設  
介護が必要な高齢者を介護する施設。

※3 多職種連携  
異なる専門職が、それぞれの専門性に基づき、連携して課題を解決していくこと。医療現場においては、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ケアマネジャーなどが連携して患者さんのケアを行う。